◎ Lesson 1 の目標と評価規準（例）

1. 目標

現在形，過去形，進行形の用法を理解したうえで，その知識を活用し，自分や周りの人，あるいはあこがれる人，尊敬する人について，わかりやすく的確に表現し，紹介することができる。

2. 内容のまとまりごとの評価規準例（生徒の状況や進度を考慮して，学校ごとに作成する。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 話すこと（やり取り） | ［知識］  ・基本時制（現在・過去・進行形）の形を理解し，それぞれの時制が持つ概念のイメージを適切に把握している。  ［技能］  ・身近な出来事を，基本的な語句を用いて，即興で伝え合う技能を身につけている。対話している相手の言う内容も正確に理解することができる。 | ・身につけた基本時制の知識・技能を活用し，身近な出来事や，自分の考えなどを整理して，対話している相手に伝わるように，表現することができる。  ・相手からの質問等も正確に理解し，適切に答えることができる。 | ・自分が話したいと思っている内容が対話している相手に伝わるように，積極的に対話を続けようとすることができる。  ・相手の話す内容や質問に対しても，きちんと耳を傾け，適切な相槌をうちながら，正確に伝わるまで根気よく答えたり，聞き返したりすることができる。 |
| 話すこと（発表） | ［知識］  ・基本時制の形を理解し，それぞれの時制が持つ概念のイメージを適切に把握している。  ・人物を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。  ［技能］  ・基本時制に関する知識を活用し，人物紹介をする際に，正確に情報が伝わるように，まとまった内容を話すことができる。 | ・人物紹介をするために，基本的な情報，その人物に関するエピソード，受けた影響や感想などの情報を整理し，わかりやすい英語で表現し，話すことができる。 | ・クラスメートに人物紹介するために，基本的な情報，その人物に関するエピソード，受けた影響や感想などの情報を整理し，まとまりのある内容をわかりやすい英語で表現し，前向きに根気よく話そうとすることができる。 |
| 書くこと | ［知識］  ・基本時制の形を理解し，それぞれの時制が持つ概念のイメージを適切に把握している。  ・人物を紹介する際のパラグラフの展開が理解できている。  ［技能］  ・基本時制に関する知識を活用し，人物紹介をする際に，正確に情報が伝わるように，まとまった内容を書くことができる。 | ・人物紹介をするために，基本的な情報，その人物に関するエピソード，受けた影響や感想などの情報を整理し，わかりやすい英語で表現しながら，５文以上のまとまりのあるパラグラフを書くことができる。 | ・人物紹介をするために，基本的な情報，その人物に関するエピソード，受けた影響や感想などの情報を整理し，英語表現をわかりやすくしようと努めながら，５文以上のまとまりのあるパラグラフを根気よく書こうとしている。 |

◎ Lesson 1 Main Activityの評価基準（例）

「思考・判断・表現」について，単元を通して指導したことをふまえて，以下４つの条件を設定する。

1. 友だちがあこがれている人（尊敬する人）の基本的な情報が含まれている。
2. 友だちがその人物にあこがれ（尊敬し）始めた時期が表現されている。
3. 友だちがその人物にあこがれる（尊敬する）理由が表現されている。
4. その人物を紹介するために内容を整理し，５文以上のまとまりのある紹介文を発表することができる。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| a | ・文法の誤りのない正しい英文で発表することができる。 | ・伝えたい内容について，詳しく説明したり，効果的に論理構成を工夫したりしながら，上記4つの条件を満たして発表することができる。 | ・聞き手を意識しながら，相手にわかるように，目配りや姿勢にも気をつけ，ジェスチャーなども加えて，伝えたい気持ちをこめて，話そうとしている。 |
| b | ・誤りが一部あるものの，内容理解には支障のない程度の英語で発表することができる。 | ・上記4つの条件を満たして発表することができる。 | ・聞き手にわかるように話そうとしている。 |
| c | bを満たしていない。 | bを満たしていない。 | bを満たしていない。 |

* 3つの観点について，aが2つ以上であればA，abbのようにbが2つ以上であればBなど，

学校内でルールを決めておく。